

# みんなの ひろば



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

## 主な内容

- 理事長あいさつ…………… 2
- 視聴覚障がい者情報センター接遇講座…………… 3
- 新療育センターの紹介…………… 4、5
- 人材育成室から  
「ふるさと発見大交流会 in Iwate 2017」に参加しました
- 余暇支援企画第6弾ニココニココ日光ツアー…………… 6
- 施設だより…………… 7
- 第25回岩手県障がい者文化芸術祭
- 製品紹介～ワークなかやま～…………… 8

第127号

平成30年2月1日  
発行

## 岩手県立療育センターが 新しくなりました

落成式当日、新たなスタートを祝福するように、大きな虹がかかっていました

このたび岩手県立療育センターは、盛岡となん支援学校と一体化した施設として矢巾町（H31年開院予定の岩手医科大学附属病院の敷地内）に新築移転し、今年1月5日から業務を開始しています。

今号では、新しくなった療育センターを紹介します。



平成29年11月29日、新築移転落成式の様子（盛岡となん支援学校と合同開催）



岩手県社会福祉事業団 理事長

水野和彦

# 『守るべきもの、改めるべきもの』 を意識して

～職員一人ひとり、自分の立場で～

利用者の皆さん、職員の皆さんには、健やかに新しい年を迎えられたこと、心よりお慶びいたします。

## 1 「利用者の「安心安全」と「地域の目線」視点を第一に

昨年を振り返ってみますと、当事業団にとりまして、利用者の皆さんの「安心安全」を改めて肝に銘ずるべき1年であったと思います。

言うまでもないことではありますが、基本は、『安全な施設で安心して利用者の皆さんに日々過ごしていただくこと』です。

そのためにも、『福祉の向上と経営基盤の確立』をその両輪として、職員の資質及び体制のさらなる充実に向上と個人・法人ともに自律している事業団を目指していきたいと考えております。

### (1) 『安全な施設で安心な生活』

○ 基本に立ち返って、リスク管理を常に見直し、利用者の皆さんが日々安心して暮らせるよう、地域の皆さんと連携して、法人全体の課題として、その対策を実行強化

していくこと、そして、職員もまた、より安心して働ける環境（雇用環境）の整備・充実を図っていくこと。

### (2) 『支援力の向上』

○ 職員が内外の研修に参加し、自らの資質向上を図り、改善活動等によって組織力の一層の充実強化を進めること。

多方面から人材を確保・育成し、利用者支援レベルの一層の向上を推進していくこと。

### (3) 『経営基盤の確立』

○ 社会福祉法人制度改革の着実な推進を図り、将来にわたり利用者皆さんのとっての「最後の砦」としての役割を担っていくこと。

### (4) 『地域との共生』

○ 「地域」ニーズを積極的に発見し、「地域」とつながる意識の醸成を図っていくこと、そして、「地域」への発信による「地域」からの理解を得た組織であり続けること。

## 2 「先義後利」の姿勢で

### (1) ハード面での充実

○ 施設整備については、矢巾町への新療育センターの移転・開業がこの1月から開始、さらには、みたち学園・みたちへの園の改築に向けた具体的な展開、そして、施設の小規模化・地域分散化・多機能化に向けた和光学園の改築整備の検討、グループホーム等の充実、中山の園の将来に向けた検討などを順次確実に進めていく年であること。

### (2) ソフト面での充実

○ 「アール・ブリュット」の更なる展開や余暇支援等地域に密着した活動の充実など、具体化に向けた推進の年であること。

「事業団としての、誇りと自信」

を糧に、「いいな!のオモイを、いいね!!のカタチに」の精神をベースに、2018年がより一層飛躍の年となりますよう、地域と共に歩んでいきましょう。



～岩手県社会福祉事業団がサポートします～



視聴覚障がい者情報センター  
「視聴覚障がい者対応接遇講座」

合理的配慮ってなあに？  
地域にも情報発信

※合理的配慮とは…

役所や事業者(会社やお店、同じサービスを繰り返し継続する意思をもって行う人たちのこと。ボランティア活動をするグループなども含まれる。)に対して、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を要しているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること(事業者においては、対応に努めること)を求めるもの。

～内閣府リーフレットより～

一回目は、「アイーナ入居団体」とアイーナに隣接する「マリオス(盛岡地域交流センター)入居団体・事業所」を対象にすることとしました。  
当日は、管理団体のほか、市文化振興事業団や県観光協会、生命保険会社など多職種の方々に参加いただきました。講座は当センターの職員(視覚障がい・聴覚障がい当事者)が障がいのことから、生活場面での情報入手についての具体例、対応のポイントについて説明しました。

視覚障がい者への声のかけ方



ポイント

- ・挨拶するときは自分も名乗ること
- ・指示語(こそあど言葉)は通用しない
- ・〈善意の手〉も手続きが不十分だと誤解されることも(「危ない!」「こちらどうぞ」の一言がないと、なぜ腕を取られたか分からず反射的に警戒してしまうことがある)
- ・いわゆる〈差別語〉以外、忌み言葉はない(色彩や風景の話題は、むしろ会話の内容を豊かにする)
- ・きっかけとなる一言は「何かお手伝いしましょうか」
- ・用事があるときは、第三者を介さず直接本人に話す(障がい者の人としてのプライドを尊重、自立の促進)

手話ワンポイントレッスン



ポイント

- ・筆談用具不要で、いつでも、どこでも、歩きながらも会話可能
- ・手話を日常使用している聴覚障がい者には筆談よりも楽(理解しやすい)
- ・聴覚障がい者にとって「手話」は母国語と同じ。手話が使え＝聴覚障がいに理解がある、受け入れてくれているとの「安心感」がある
- ・接客スキルの一つとして「手話」をマスター＝これもバリアフリー

実践!

- ・よく使う「単語」だけでも覚える
- ・数字の表現を覚える(数量・人間・階・時間・金額等)
- ・指文字(五十音)を覚える(手話単語がわからないときの代替手段に)

ポイント

- ・難聴者全員が手話を取得しているわけではない
- ・難聴者だけでなく、高齢者に対してもやさしい
- ・手話は取得に時間がかかるが、筆談は今日からでも実践可能!

実践!

- ・相手が見やすい位置で書く
- ・長い文章はさける。
- ・書いている最中は話しかけない、書きながら話さない
- ・内容によっては図を描いた方が分かりやすくなることも(道案内など)

筆談での対応を体験中



二回目は、さらに受講対象の範囲を広げ、「盛岡駅前」の公共交通機関や駅ビル、商店街に講座のご案内をしました。県央消防指令センター、盛岡駅前ビル、フェザン、建築住宅センター等、多職種の方々に参加いただくことができました。

参加者からは、「具体例によってイメージが広がった」「学ぶことで自信がついて、実際に行動してみよう」と

思った」等、多くの感想をいただきました。さらに、当日、地元紙の取材があり、県民の方々にも接遇講座について紹介することができました。

今年度、地域まで範囲を広げて活動した結果、「合理的配慮」についての認知度が低いことが改めて分かりました。そして、一人ひとりの意識改革と草の根活動が必要であると感じました。今後も継続して、地域に向けて発信していきたいと思えます。

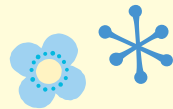
(視聴覚障がい者情報センター)

情報支援主査 高橋由起子





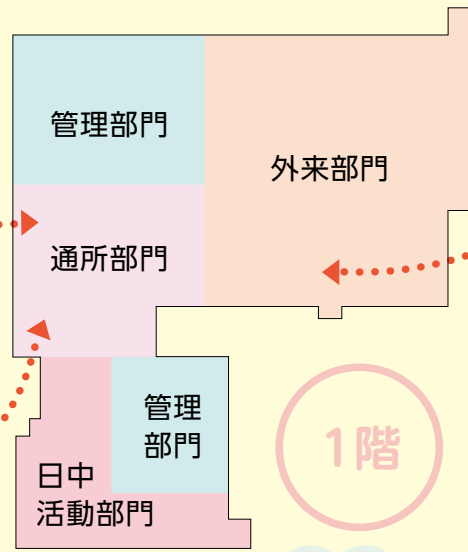
かがやき（写真上：重症心身障害児・者向け通所）とつくしんぼ（写真下：肢体不自由児向け通所）床暖房が入っており冬でも暖かく過ごすことができます



重い障がいのあるお子さんでも安心して過ごしていただけるよう、人工呼吸器に対応した設備のある障がい児支援棟の居室



プライバシーに配慮された相談室



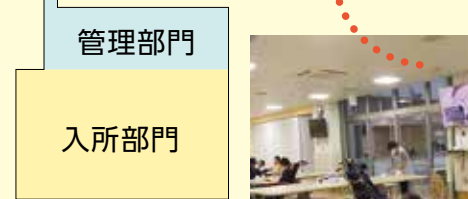
明るい待合室 広々つろげる児童コーナー



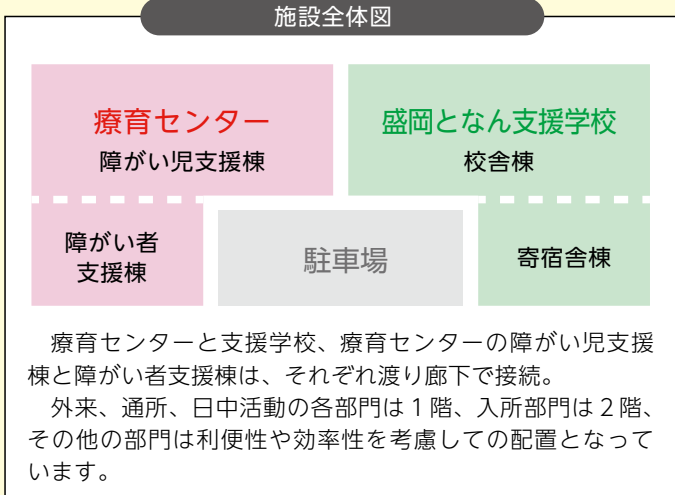
支援学校とはスロープの渡り廊下でつながっています 壁面には星座のイラストが施されており、登校が楽しくなりそうです



スヌーズレンでリラックス



中庭に面した明るい食堂・プレイルーム



# 新しくなった 療育センターを紹介します

## ごあいさつ

療育センター 所長 嶋田 泉司

岩手県立療育センターは、岩手医科大学（H31年開院予定）の敷地内に新築移転しました。本年（H30年）1月5日から矢巾町で業務を開始しております。  
 療育センターは新たなステージに歩みを進めることができました。多くの人たちのご支援があったからこそと感謝しております。  
 私たちはセンターを時代のニーズに応える施設にすべく様々なことにチャレンジしなければいけません。変わる勇気が必要と考えています。その一方で、都南学園から60年間にわたり受け継いだ心（優しさ）は忘れず、これからも利用者さんと歩み続けたいと思っています。  
 「変わる勇気」と「変わらぬ優しさ」のこぼれを胸に私たちはチャレンジを続けます。今後もよろしくお願いいたします。

## 新療育センターの機能

- (1) 超重症児(者)等に対応したハード・ソフト両面での体制整備
- ① 静音かつ高画質による診断が可能な 1.5 テスラの MRI や、消化器の動き等を確認できる X 線透視装置などの医療機器整備により、障がい児に対応した医療機能を強化。
  - ② 新設した重症心身障がい児対応病床や通所サービスの居室等において、人工呼吸器に対応した酸素ガス供給設備等を整備するなど、超重症児(者)等への対応を強化。
  - ③ 一般病床を新設し、在宅の重症心身障がい児の肺炎等の重篤化への対応や NICU（新生児特定集中治療室）からの後方病床としての機能を新たに追加。

- (2) 診療科の増設による診療体制の充実
- 発達障がいなどの障がい特性により一般の医療機関で受診が困難な障がい児への対応や複数の医療機関の掛持ち受診の負担軽減を図るため、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、眼科を増設し、外来診療機能を強化。

- (3) 特別支援学校との連携
- 盛岡となん支援学校との職員の合同研修や情報共有等ができる環境を整備し、医療、福祉、教育が一体となって連携することにより、障がい児や保護者が安心して学べる教育環境の充実を図る。

## ●前療育センターとの比較

		前療育センター	新療育センター
障がい児支援部門	入所部門	肢体不自由児対応病床 60人 重症心身障がい児対応病床(超重症児等対応) - 一般対応病床(在宅重症児の重篤化対応等) -	30人 20人(新設) 10人(新設)
	外来部門	診療科数 6診療科 診療科名 小児科、整形外科、児童精神科、歯科、神経内科、泌尿器科	9診療科 左記6診療科+耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、眼科を増設
	通所部門	医療型児童発達支援センター(旧：肢体不自由児通園) 20人 児童発達支援事業・生活介護事業(旧：重症心身障がい児・者通園) 15人 短期入所・日中一時支援 5人・3人	20人 15人 5人・3人
障がい者支援部門	施設入所支援	30人	30人
	自立訓練(機能訓練)	20人	20人
	自立訓練(生活訓練)	6人	6人
相談支援部門	就労移行支援	6人	6人
	障がい児等療育支援事業	在宅の重症心身障がい児・者への支援	継続
	発達障がい者支援センター	在宅の発達障がい児・者及び支援機関への支援	継続





## 「ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2017」 に参加しました

平成 29 年 11 月 19 日、県内初開催となる「ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2017」に参加しました。

このイベントは、若者が地元企業や産業を知る機会とし、企業はリアルな学生を知る、まさに「発見」の場です。会場の岩手大学第一体育館は、企業 175 社、学生一般参加者 1500 人で押すな押すなの大賑わい!! (ちょっと言い過ぎ?) でもそのくらい活気に溢れていました。

当法人ブースにも、たくさんの方が来場しました。その説明を一手に引き受けたのが、神さん(岩手県地域生活定着支援センター)と八重樫さん(松風園)です。2人は、事業所の紹介や入職したきっかけ、今の仕事の内容、やりがい、利用者さんとのエピソードなど、ユーモアを交えながら話し、学生達も2人の話に「へへ〜、そうなんだあ〜」と惹き込まれていました。



説明員の2人 左側：神友樹さん(岩手県地域生活定着支援センター)  
右側：八重樫佳奈さん(松風園)

この日の何よりの収穫は、参加した学生達に、私達の仕事の楽しさを伝えられたこと。そして、その楽しさを伝えた2人が生き生きと輝いていたこと!なのです。事業団の未来は明るい!!と思わずニヤリ・・・

人材育成室は、このようにいろいろなイベントに参加して、事業団のPRや人材の確保に情報発信しています。でもまだまだ、足りないところだらけです。皆さんのお知恵をお借りしながら、進めていきたいと思っております。

ところで皆さん知ってますか?最近の福祉の3Kは「感謝」「感激」「感動」だそうです。こんな素敵な仕事はないですね。自信を持って3Kしましょう!



「事業団ってどんな仕事してるの?」「どうしてこの仕事を選んだの?」など、学生の質問に答えました。



利用者の方と取り組んでいるアート活動について、実際に作品を見せながら紹介しました。



### 余暇支援企画第6弾

## ニコニコ

## 日光ツアー



新幹線で宇都宮へ



宇都宮駅に到着 宇都宮と言ったら餃子ですね



### 日光江戸村

江戸村キャラクターにやんまげと

グループホームの利用者さんからの「普段と違った活動に参加し、楽しく充実した余暇を過ごしたい」という声を受け、一昨年度から始まったこのニコニコツアー。第6弾となる今回は、「遠くまで足を延ばしてみたい」という方々を募り、新幹線で栃木県へ。利用者52人、ボランティア11人、職員11人、総勢74人の参加がありました。

1日目は日光江戸村へ。江戸時代にタイムスリップした空間を満喫しました。2日目はお菓子の城那須ハートランドへ。菓子工場見学やおみやげ購入をして楽しみました。

11月下旬の実施となりましたが、所々紅葉が残っており、皆さんからは感激の声があがっていました。天気もよく、栃木県の美しい自然景観を味わうことができた2日間でした。

今後も楽しい企画を準備していきたいと考えておりますので、ご期待ください!

### お菓子の城 那須ハートランド



那須のお菓子が揃う大型のお土産屋さん  
まさに“お城”のかわいらしい外観にワクワク!



工場見学 ベルトコンベヤで流れてくる  
大量のお菓子が釘付けです!

## 施設だより

### 県北エリアより

まだまだ寒さ厳しい県北エリアですが…寒さに負けないHOTな話題をお届けします♪



### 障害者支援施設 やまゆり (一戸町)

## 楽しく、健康的に♪

～室内での活動に工夫を～

やまゆりでは、冬期間、雪の影響で外での活動ができない分、施設内でテレビ体操や歩行などの運動をしたり、カラオケや輪投げ、ボウリングなどの余暇活動に取り組んでいます。

行事では、忘年会などでボランティア団体の方々との踊りや歌を聞いたり、会食をしたりし楽しんでいます。



何本倒せるかな!?



ボランティア団体の里山一座の皆さんと一緒にダンス♪

### 障害者支援施設 りんどう (一戸町)

## りんどうクリスマス会

12月21日(木)に待ちにまったクリスマス会があり、りんどうにサンタクロースが来てくれました。サンタクロースからプレゼントをもらった後はケーキをみんなで美味しく食べました。



サンタさんからのプレゼント



メリークリスマス!

### 障害者支援施設 つつじ (一戸町)

## これからも元気で過ごしていくために

～あいうべ体操の取り組み～

つつじでは、利用者の高齢化に伴い、機能維持・健康増進の目的で日中活動時間にあいうべ体操(口腔体操)に取り組んでいます。毎日の活動として提供する事で利用者の方も自発的に参加するようになっており毎日の日課として定着しています。



口を大きく開けて「あ～～」



つつじで作成したビデオを見ながら取り組んでいます

### 障害者支援施設 こぶし (一戸町)

## 身近な地域交流

こぶしでは、地域交流として、慶寿園プラザ「ぶなの風」に行き、窓拭きなどの奉仕活動後、利用している方々との交流を図りました。また、奥中山高原駅の清掃を行い、こぶし利用者の作品を展示させていただきました。



慶寿園プラザ「ぶなの風」の窓拭き



IGR 奥中山高原駅の奉仕活動

### 地域生活支援センター ひこうせん (岩手県)

## ねんどでつくろうワークショップ

ひこうせんでは、11月25日(土)「石神の丘美術館」学芸員齋藤桃子さんをお招きし、第二回目粘土創作体験を開催しました。第一回目のテーマは動物、今回はスイーツやキャラクターを制作。それぞれが色や形など工夫を重ね、色鮮やかな作品を作り上げていました。



本物のような見本のプリンに驚き



デコレーションのビーズ選び



# 第25回岩手県障がい者文化芸術祭



作品展示

今年度、当事業団は県からの委託を受け、「第25回岩手県障がい者文化芸術祭」を開催いたしました。当事業団として初の開催でしたが、昨年度まで長年、芸術祭を開催してきた岩手県障がい者社会参加推進センターや岩手県障がい者スポーツ協会、メイン会場であるふれあいランド岩手ほか多くの団体のご協力を得て、無事終了することができました。作品出展者、出演者の皆さまをはじめ、ご来場いただきました皆様、関係者各位のご支援、ご協力に厚く御礼申し上げます。

## いしがきミュージックフェスティバル2017

各イベント	日時
いしがきミュージックフェスティバル2017	平成29年9月18日(月・祝)
作品展示	平成29年11月16日(木)～12月3日(日)
記念式典(表彰式)	平成29年11月25日(土)
ふれあい音楽祭2017	平成29年12月2日(土)



のびっこ寮育センターのげんき太鼓



Fun2Funの息の揃ったヒップホップダンス

### 記念式典(表彰式)



オープニングは迫力のビッグバンド



スライドに写された受賞作品に感嘆の声



作品写真の前で表彰状の授与

### ふれあい音楽祭2017



盛岡視覚支援学校の息の揃ったバンド演奏



車椅子ダンスの華麗なターン



ラストを飾るのはゲストの松本哲也さん

### 製品紹介♪

#### コラボ商品第2弾!

## 「まめまめクッキー」販売開始

ワークなかやま(一戸町)

今年度「ワークなかやま」では、みんなで大事に育てた大豆や黒豆などを豆パウダーにし、豆パウダーを使ったヘルシーなお菓子「まめまめクッキー」を一戸町の老舗菓子店「北館菓子舗」さんに作っていただきました。現在販売中の野菜パウダー入り饅頭、パウンドケーキもあわせてご賞味ください。

「まめまめクッキー(花豆・青豆・大豆・黒豆)」  
1袋120円(税込)



老舗菓子店「北館菓子舗」さんと一緒に

問い合わせ先

障害福祉サービス事業所「ワークなかやま」  
☎0195-35-2067